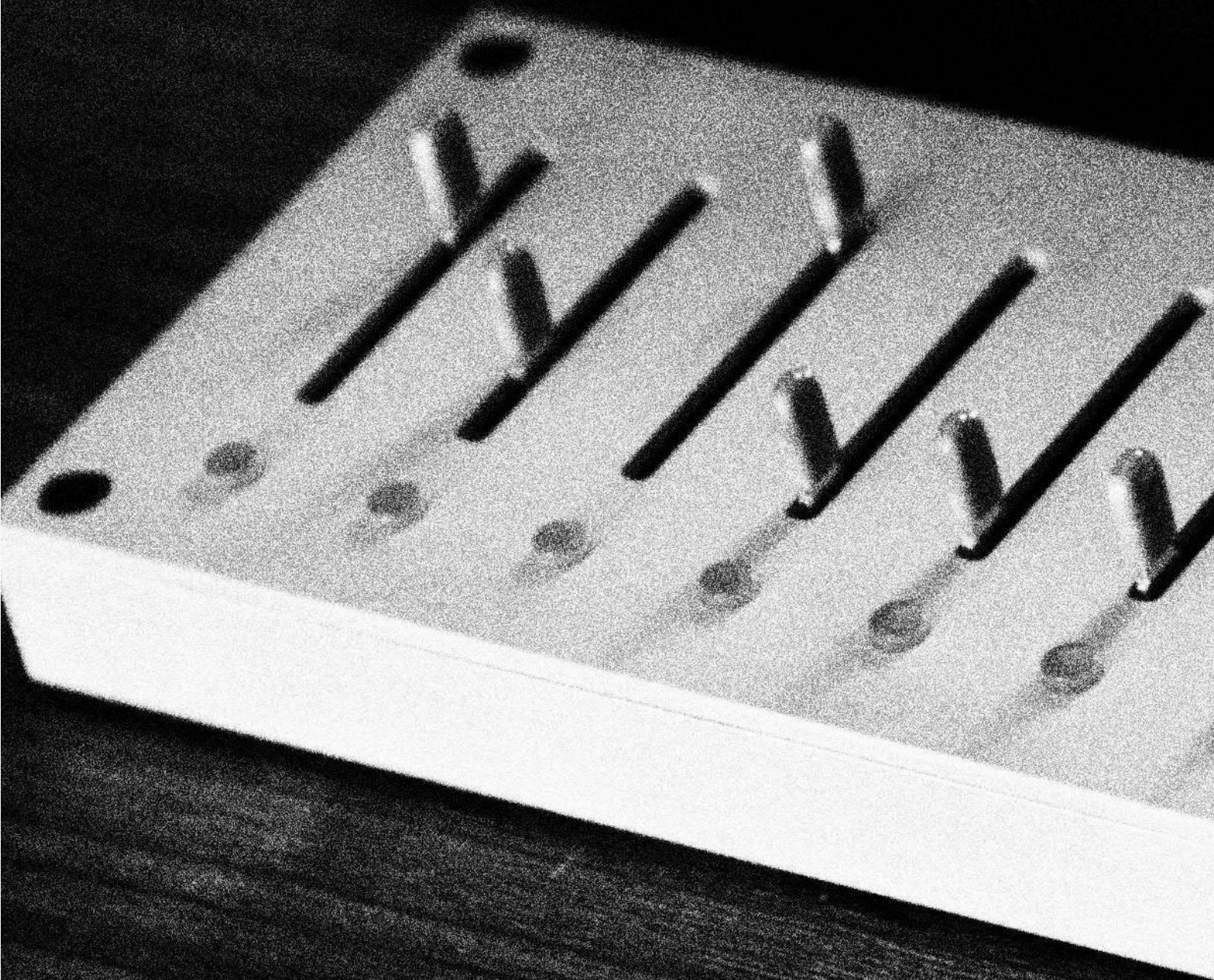


# MIDI

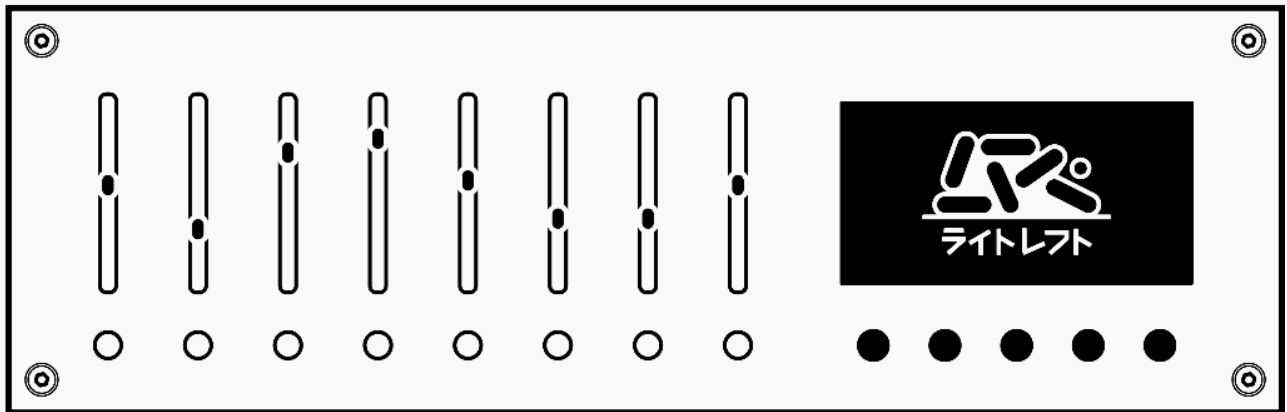
Midi Computer  
Made in Japan



## 目次

<b>MONOLIT</b> .....	<b>3</b>
仕様.....	3
ハードウェア入出力.....	4
<b>ユーザー・インターフェイス</b> .....	<b>5</b>
デフォルト設定 .....	6
メイン・メニュー .....	6
EDIT メニュー .....	7
スライダーおよびボタンの編集.....	7
<b>モード</b> .....	<b>8</b>
CC モード (コントロール・チェンジ) .....	8
CC モードのボタン設定.....	8
NOTES.....	10
LFO (LOW-FREQUENCY OSCILLATOR) .....	11
LFO SYNC.....	12
MOTION.....	12
<b>SETTINGS</b> .....	<b>13</b>
SYSTEM.....	14
MIDI.....	15
UPDATE FIRMWARE .....	15
MONOLIT ファームウェア・アップデート・ガイド .....	15
<b>プリセット・マネージャー</b> .....	<b>16</b>
プリセット名の変更.....	16
LOAD .....	17
SAVE.....	17
<b>外部 MIDI デバイス</b> .....	<b>18</b>
MIDI デバイス・モード.....	18
SPLIT.....	19
KEY FOLLOW .....	20
ARPEGGIATOR (アルペジエーター) .....	21
<b>GAMEPAD (ゲームパッド)</b> .....	<b>23</b>
<b>MONOME GRID との接続</b> .....	<b>25</b>
<b>最後に</b> .....	<b>25</b>

# MONOLIT



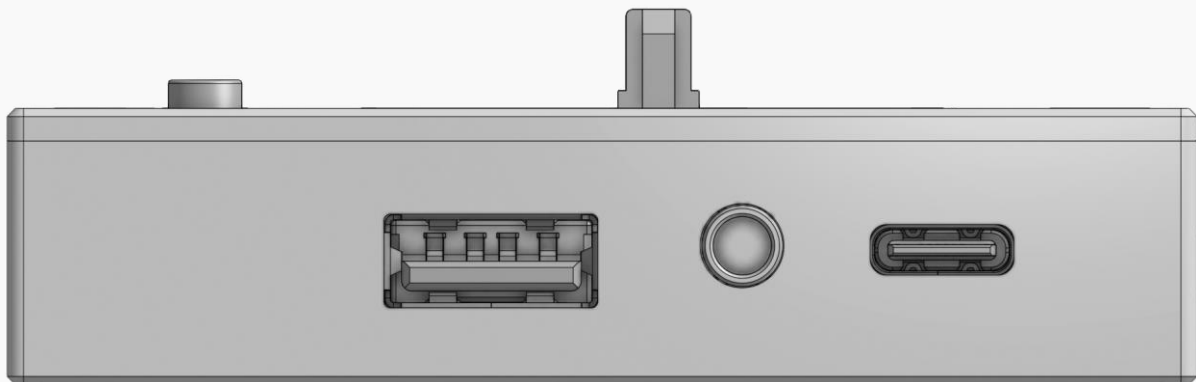
MONOLIT は、直感的に操作できる多機能な MIDI デバイスです。お使いの MIDI セットアップの中核として使用でき、MIDI に対応するハードウェアおよびソフトウェアの様々なパラメーターを幅広くコントロールすることができます。

## 仕様

- **筐体**：筐体とフロントパネルは、高精度アルミ削り出しボディを採用しています。
- **ディスプレイ**：128 x 64 高輝度対応モノクロ・ディスプレイ。クリアなピクセル・フォントを採用。
- **コントロール**：8つのスライダーおよび13個のボタンで様々なコントロールが可能。
- **バンク**：8つのバンクに対応。プリセット毎に64のスライダーおよびボタンをフルカスタマイズ可能。
- **メモリ**：プリセットの保存、読み込み、編集、切り替えが簡単に行えます。
- **互換性**：MONOLIT は、MIDI をサポートするあらゆる DAW やハードウェアとシームレスに統合します。
- **接続性**：TRS MIDI (タイプ A)、USB-C、USB ホスト入力で外部機器を接続できます。
- **モード**：カスタマイズ可能なスライダー／ボタン・モード。

## ハードウェア入出力

MONOLIT は、USB-C、TRS MIDI タイプ A、USB 2.0 タイプ A の 3 つの接続ポートを備えます。



### USB-C ポート

MIDI 対応デバイスを USB-C ケーブルで接続し、MONOLIT と直接 MIDI メッセージの送受信が行えます。

### TRS ポート

TRS MIDI ポートは、MIDI メッセージを出力できます。このポートを使用することで、MONOLIT を MIDI ハブとして用いることができます。

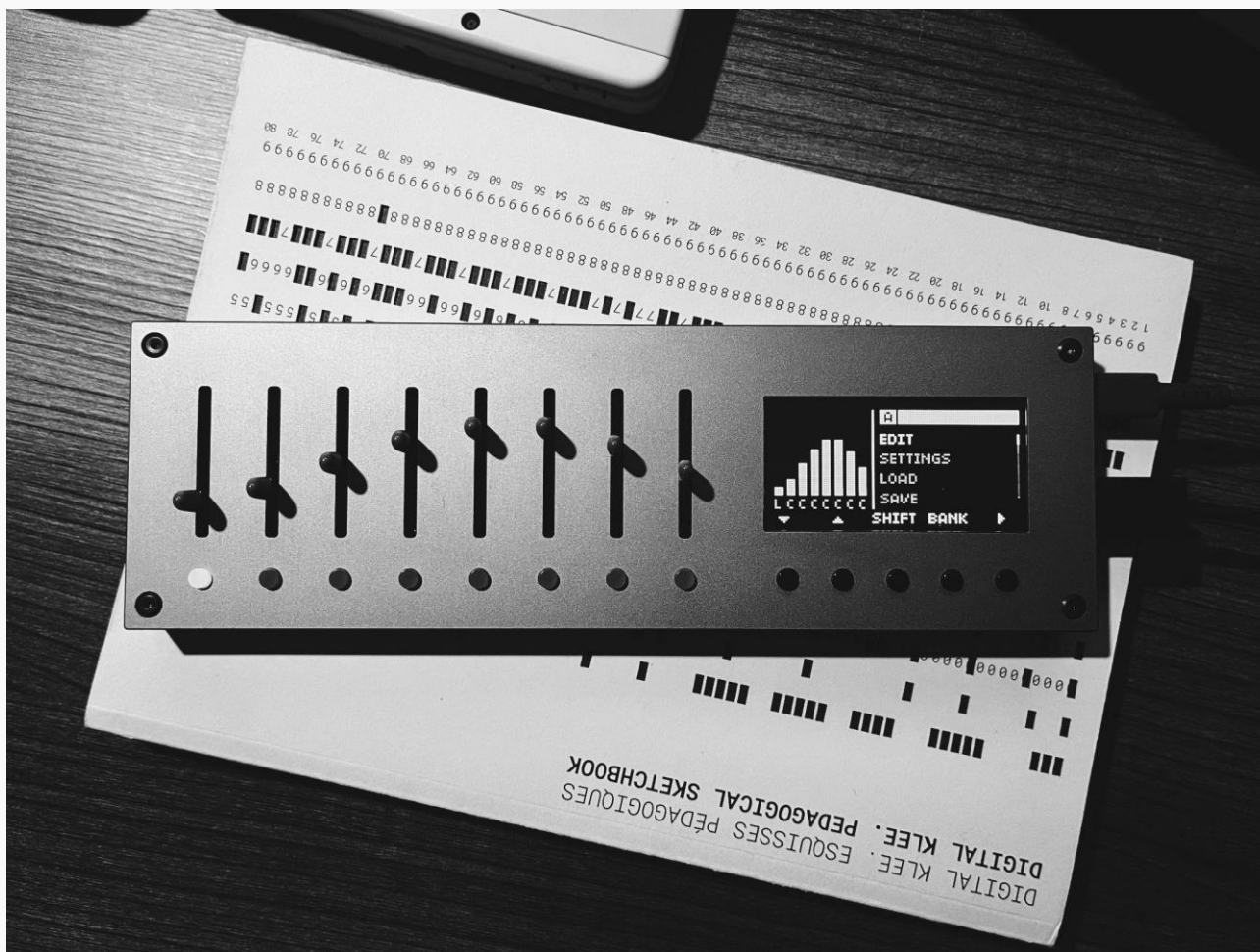
### USB 2.0 タイプ A ポート

USB MIDI コントローラーやゲームパッドを接続できます。MIDI ポートを搭載しないデバイスも接続でき、MONOLIT の柔軟なコントロールが可能となります。USB 2.0 に準拠し、簡単なセットアップで高い信頼性と幅広い互換性を提供します。

---

# ユーザー・インターフェイス

MONOLIT のユーザー・インターフェイスは、極めて直感的です。



本体の左側には、スライダーとボタンのペアが8つ搭載されています。

右側には、ディスプレイと5つのメニュー用ナビゲーション・ボタンを備えます。ディスプレイには、MONOLIT に対する操作が視覚的に表示されます。必要な項目がすべて表示されるため、MONOLIT の現在のステータスをリアルタイムに把握できます。

## デフォルト設定



起動直後の MONOLIT は、8 組のスライダーおよびボタンのすべてが **CC モード**（コントロール・チェンジ・モード）に設定されています。CC モードでは、接続中の MIDI デバイスのパラメーターを調整できません。

スライダーを動かすことで、MIDI CC 値を滑らかに遷移させることができます。初期設定では、ボタンを押すことで MIDI CC 値が最小値と最大値（0 および 127）に交互に切り替わります。このときボタンは **メモリアル・モード** で動作し、ボタンを押すと最大値が、ボタンを離すと最小値が出力されます。

## メイン・メニュー

メイン・メニューのナビゲーションは、ディスプレイ下部のボタンで行います。ボタンは左から **カーソル移動**（上下）、**SHIFT**、**BANK**、**ENTER** ボタンとして機能します。

- **BANK** – メイン・メニューで **BANK** ボタンを押すと、選択中のプリセットに保存されている 8 つのバンクにアクセスできます。ディスプレイに表示される前/後ボタン、またはスライダー下部の対応するボタンでバンクを切り替えます。
- **SHIFT** – **SHIFT** ボタンを押すと、追加機能（通常は機能名がディスプレイに表示）を利用できます。たとえば **SHIFT** ボタンを用いてスライダー設定をコピーすること等が可能です。またメイン・メニューで **SHIFT** ボタンを押しながら **START** を押すと内部クロックが有効になります。**TAP** をタップすると BPM を調整できます。**SHIFT** ボタンを押しながら **PANIC** ボタンを押すと、すべての MIDI メッセージ出力が停止されます。**SAVE** メニューでは、**SHIFT** ボタンで保存済みのファイルを削除できます。



ノート：EDIT メニュー（後述）では、**SHIFT** ボタンを押しながらスライダーを動かすことで、対応するトラックのパラメーターを変更できます。様々なパラメーターを素早く変更できる便利な機能です。**ENTER** を押しながら「+」および「-」を押すことで、パラメーターの微調整が可能です。

メイン・メニューには、以下のサブメニューが表示されます。

- ・ **EDIT** - すべてのコントロール（スライダーおよびボタン）の挙動を設定します
- ・ **SETTINGS** - MONOLIT のセットアップとリセット、ファームウェアのアップデートを行います
- ・ **LOAD** - プリセットを読み込みます
- ・ **SAVE** - プリセットを保存します
- ・ **EXTERNAL DEVICE** - 外部 MIDI デバイスに対する MONOLIT の動作を設定します
- ・ **GRID** - Monome Grid に対する MONOLIT の動作を設定します
- ・ **GAMEPAD** - ゲームパッドに対する MONOLIT の動作を設定します

## EDIT メニュー



EDIT モードでは、MONOLIT の動作を設定します。高度なカスタマイズが可能です。

メイン・メニューから EDIT メニューに入るには、ディスプレイ下部のボタンを使用します。このメニューでは、各ボタンおよびスライダーの動作を変更できます。

まず、カスタマイズしたいボタンまたはスライダーを選択します。スライダー下部のボタンを押すと、それらをペアリングし編集できるようになります。

パラメーターを変更するには、ディスプレイ下部の一番右のボタンを押すか、SHIFT を押しながら目的のスライダーを変更します。

## スライダーおよびボタンの編集

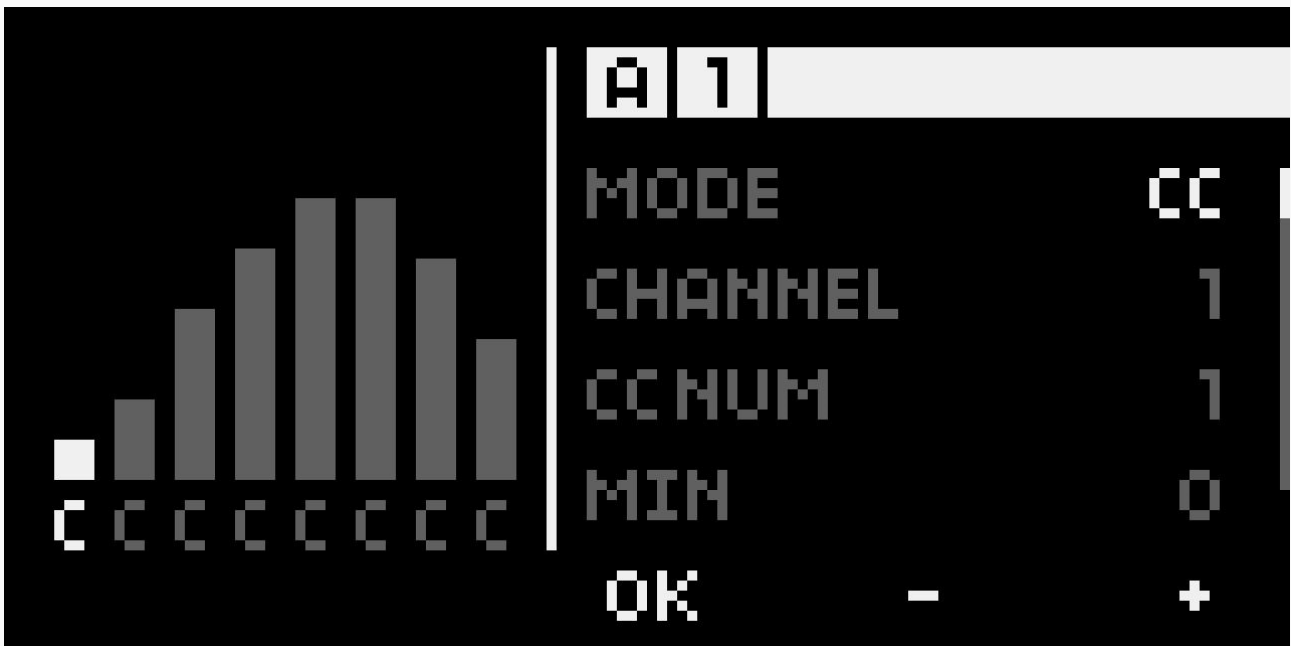
EDIT メニューはスライダーとボタンの 2 つのセクションに分かれており、それぞれの動作を各セクションで設定します。現時点のファームウェアでは、ボタンの設定はスライダーの CC モードでのみ編集できます。他の 3 つのモードでは、ボタンの動作はあらかじめ設定されており変更できません。

# モード

EDIT メニューの最初の項目 MODE では 4 つのモードを選択でき、スライダーやボタンを異なる動作モードに切り替えることができます。モードを変更すると、関連する他のパラメーターも自動的に変更されます。

- CC (コントロール・チェンジ)
- NOTES (ノート)
- LFO
- MOTION (モーション)

## CC モード (コントロール・チェンジ)



CC (コントロール・チェンジ) モードを使うと、接続したデバイスのパラメーターを変更できます。

### CC パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。
- **TIME** - スライダー値が出力されるまでの時間差を設定します。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更できます。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを MONOLIT に接続することで、名前の変更を簡単に行うことができます。

### CC モードのボタン設定

現時点のファームウェアでは、ボタンの設定はスライダーの CC モードでのみ編集できます。他の 3 つのモードでは、ボタンの動作はあらかじめ設定されており変更できません。



- **CC (コントロール・チェンジ)** - パラメーター値を変更します。
- **NOTE** - MIDI ノート・メッセージを出力します。
- **PROGRAM** - MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを出力します。接続先のデバイスのプリセット変更などに使用できます。

#### ボタン：CC パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **MODE** - MOMENT モードでは、ボタンを押すと高い MIDI 値が、ボタンを離すと低い MIDI 値が出力されます。TOGGLE モードでは、ボタンを押すたびに最大値と最小値が交互に出力されます。MOMENT モードと異なり、ボタンを押し続ける必要はありません。
- **CC NUM** - チャンネルごとに最大 128 個の異なるコントロール チェンジ (CC) (0 ~ 127) を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **CC STEPS** - (TOGGLE モードでのみ利用可) ボタン出力値のステップ数が増加します。最大ステップ数は、10 です。出力される MIDI 値は、最大値と最小値の間で変化します。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。
- **INVERT** - ボタンの出力値が反転します。MOMENT モードの初期設定では、ボタンを押すと最大値が、次にボタンを押すと最小値が出力されます。

#### ボタン：NOTE パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **NOTE** - ボタンを押すことで出力される MIDI ノートを設定します。他の設定で使用済みのノートは、ノート番号の前に小さな「x」印が表示されます。
- **VELOCITY** - MIDI ノートのトリガーまた発音中のベロシティを設定します。

#### ボタン：PROGRAM パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **PROGRAM NUM** - 接続先のデバイスに送信する MIDI プログラム番号を設定します。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを MONOLIT に接続することで、名前の変更を簡単に行うことができます。

# NOTES



NOTES モードでは、スライダーが設定した値に達した際に MIDI ノートが出力されます。

## NOTES パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **TYPE** - TRIG を選択すると、スライダーが設定値に達した時に、対応する MIDI ノートが出力されます。TRIG モードでは、トリガーされる各 MIDI ノートの間隔と、各ノートの発音時間をパラメーターとして設定できます。GATE を選択すると、スライダーが設定した値の範囲に達した時点で MIDI ノートが出力されます。
- **MARGIN** - (TRIG モードでのみ有効) MIDI ノート・ポイントの間隔を設定します。
- **LENGTH** - (TRIG モードでのみ有効) トリガーされた MIDI ノートの発音時間 (長さ) をミリ秒単位で設定します。
- **VELOCITY** - 出力する MIDI ノートのベロシティを設定します。
- **TIME** - スライダー値が出力されるまでの時間差を設定します。このパラメーターを用いると、NOTES モードをシーケンサーの様に使う事ができます。
- **STEPS** - スライダーに配置される MIDI ノート・ポイント数を設定します。ステップ数の最大値は 6、最小値は 2 です。
- **OFFSET** - MIDI ノートのオフセットを半音単位で設定します。
- **NOTE EDIT** - 設定したステップに対応する MIDI ノートを設定します。ディスプレイ下部の一番右のボタンでステップを切り替え、「-」 / 「+」 ボタンでノートを変更できます。SHIFT ボタンを押しながら目的のスライダーを動かすことで、MIDI ノートを素早く変更することができます。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを使用すると、項目名の変更が簡単に行えます。

現時点のファームウェアでは、NOTES モードのボタンの編集は行えません。今後のファームウェア・アップデートで対応予定です。

# LFO (LOW-FREQUENCY OSCILLATOR)



LFO モードでは、スライダーで LFO のパラメーターを変調出来ます。

## LFO パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI を送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **STATE** - 初期設定での LFO のオン/オフのステータスを設定します。パフォーマンス・モードでは、スライダー下部のボタンで LFO のオン/オフをその場で切り替えることができます。
- **SYNC** - LFO の速度を内部または外部 MIDI クロックと同期します。
- **RATE** - LFO の速度を Hz (ヘルツ) 単位で設定します。
- **DEPTH** - LFO の振幅を設定します。
- **WAVEFORM** - LFO の波形を設定します (サイン波、ノコギリ波、矩形波、ランダムから選択)。
- **POLARITY** - LFO の動作をスライダーの値に応じて変化させます。POS - LFO が正の向きに動作します。スライダー値が最小値となり、それ以上の値を LFO が遷移します。NEG - POS と反対の動作をします。スライダー値が最大値となり、それ以下の範囲で LFO が遷移します。BOTH - スライダー値が中心値となり、正と負の向きに LFO が動作します。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを使用すると、名前の変更が簡単に行えます。



ノート：メイン画面で**ボタン**を押すと、LFO のオン/オフが切り替わります。編集モードでは、**Shift + ボタン**で LFO のオン/オフが切り替わります。

## LFO SYNC



LFO SYNC 機能を使うと、LFO の速度を MONOLIT の内部クロックまたは外部 MIDI クロックに同期させることができます。メイン画面で **SHIFT + START** を押すと内部クロックが有効に、**SHIFT + STOP** を押すと無効になります。

LFO の同期を有効にするには、メインの LFO メニューで **SYNC** を有効にします。内部クロックが選択されている場合、BPM を設定するためのメニューが表示されます。

### LFO SYNC パラメーター

- **RATE** - 同期モードでの LFO の速度を設定します。
- **BPM (内部クロック有効時のみ)** - 内部クロックでの LFO 同期が有効の時、LFO の速度を BPM で手動設定します。

## MOTION



MOTION モードを使うと、スライダの動きを記録して再生できます。パラメーターのオートメーションが可能になり、表現力豊かなモジュレーションを実現できます。ボタンを押したままスライダを動かすと、モーション（スライダの動き）が記録されます。

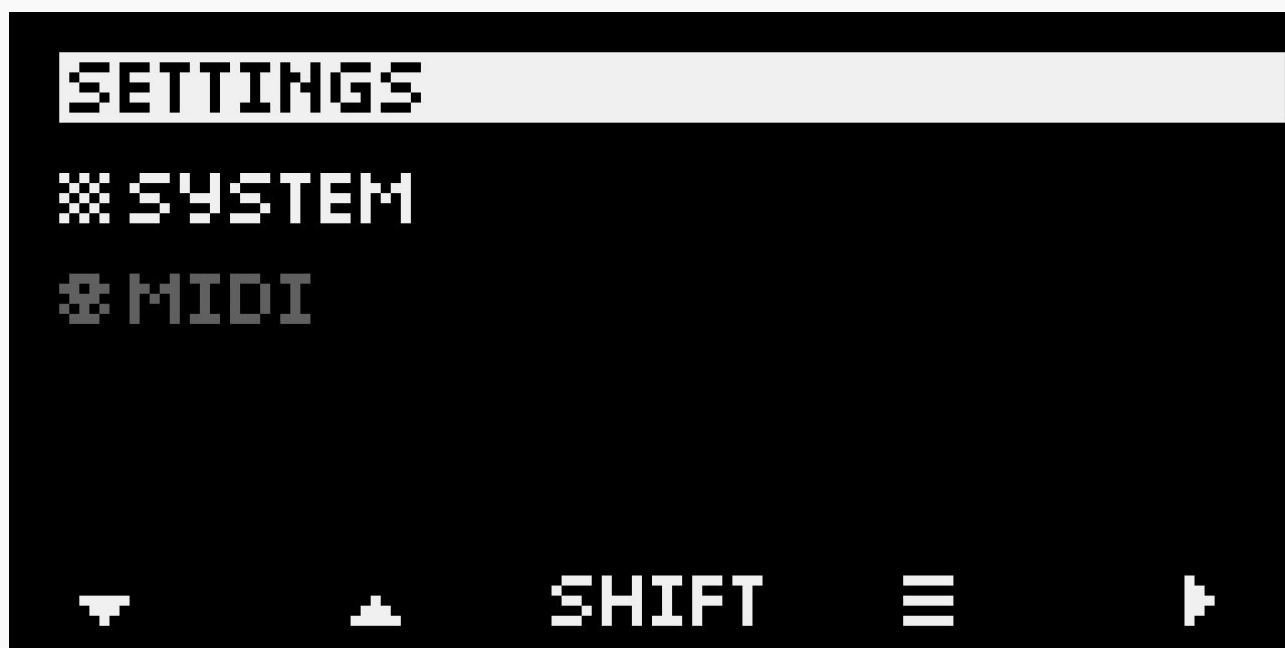
#### MOTION パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号（0~127）を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **PLAY MODE** - ONE を選択すると、記録されたモーションが一度だけ再生されます。LOOP を選択すると、モーションが記録された後、ループ再生されます。
- **AUTOPLAY** - ON に設定すると、スライダの動きの記録が完了した瞬間にモーションが自動的に再生されます。
- **RENAME** - 選択中のスライダの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを使用すると、名前の変更が簡単に行えます。

ボタンを押すと、記録したモーションが有効または無効になります。ボタンを押したままスライダを動かすと、モーションが記録されます。

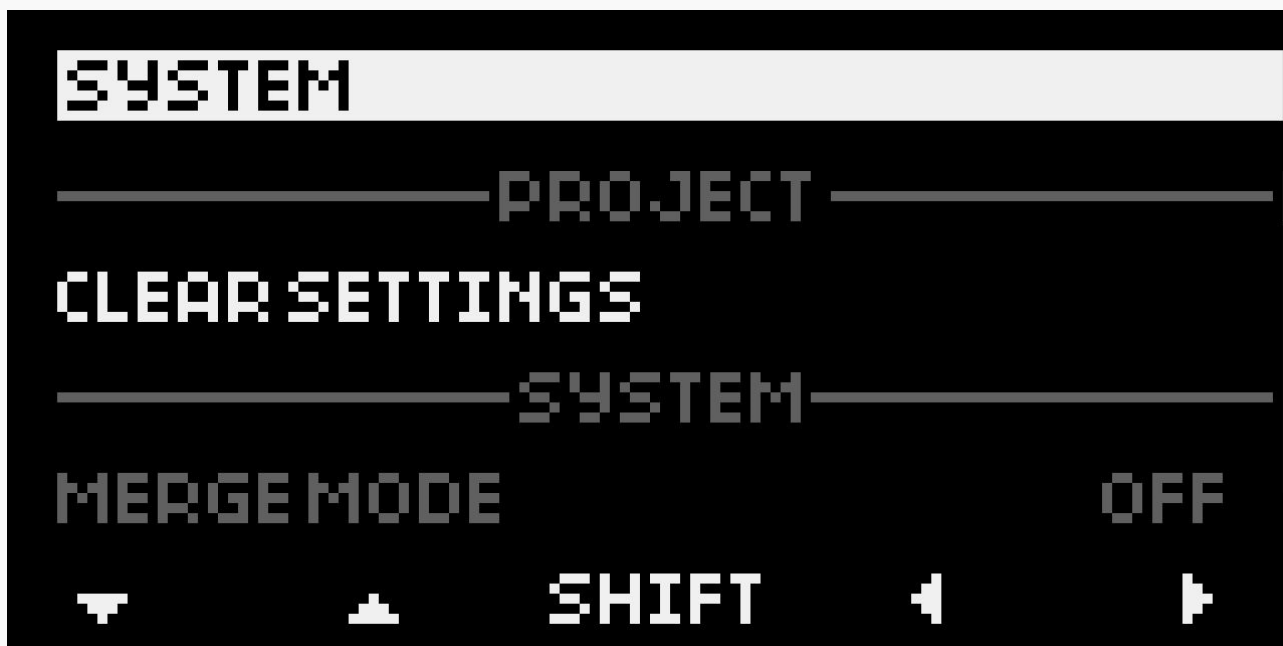
---

## SETTINGS



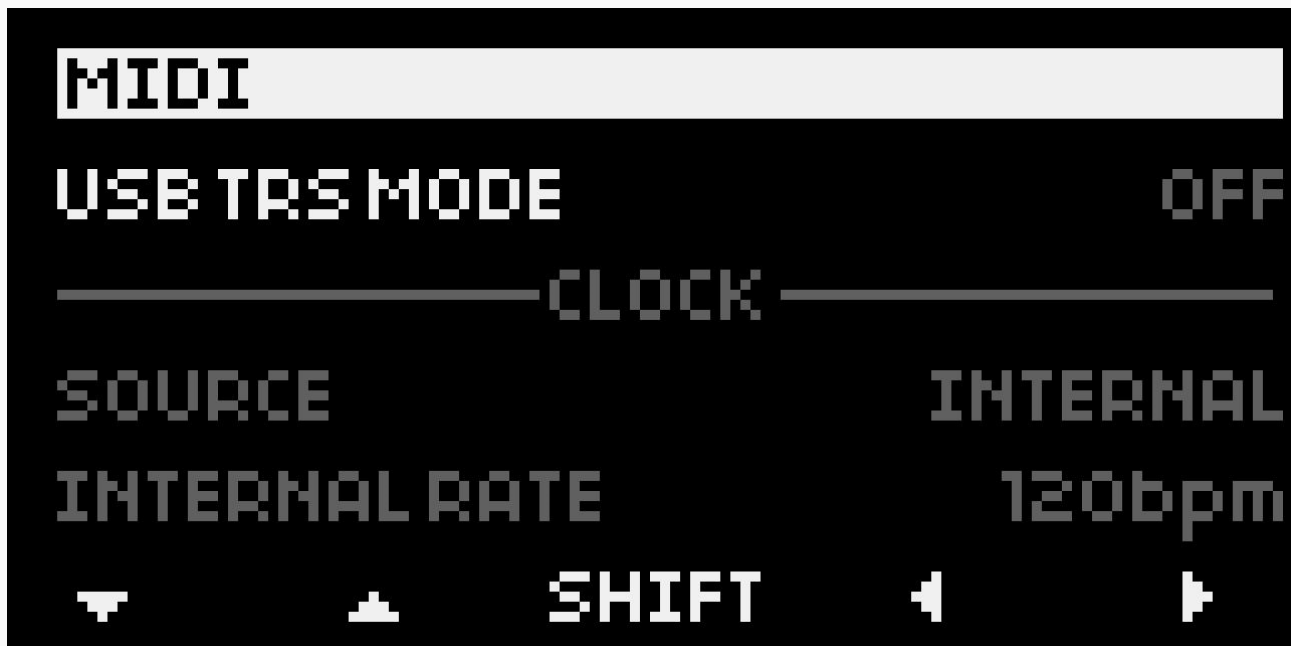
MONOLIT のセットアップとリセットを行う設定メニューです。

## SYSTEM



- **CLEAR SETTINGS** - MONOLIT のプリセットをデフォルト設定にリセットします。新しいプリセットをゼロから設定し直す場合に便利な機能です。プリセットを保存しておくことで、リセットした後に元の状態に復帰させることができます。
- **MERGE MODE** - バンクを切り替えた際に各パラメーターが滑らかに遷移します。スライダー値が異なるバンク間を切り替える際、スライダーの現在の位置に合わせてパラメーター値が徐々に変化します。これによりパラメーターの急激な変化を防ぐことができます。
- **STARTUP ANIMATION** - 起動時のアニメーションを無効にします。この設定を有効にすると、MONOLIT の起動処理を早めることができます。
- **UPDATE FIRMWARE** - アップデート・モードが有効になります。MONOLIT はコンピューターの外部ドライブとして動作し、ファームウェアのアップデートが行えます。
- **FORMAT MEMORY** - 保存済みのすべてのプリセットがプリセット・マネージャーから削除されます。  
この操作は取り消しができません。すべてのプリセットが完全に削除されますのでご注意ください。

## MIDI



- **USB TO TRS** - MIDI メッセージを TRS ポートから送受信します。DAW からの MIDI 信号を TRS MIDI 出力経路で外部デバイスに送信する場合などに利用できます。

CLOCK セクションでは、MIDI クロック・ソースおよび BPM 関連の設定を行います。

- **SOURCE** - クロック・ソースを選択します (INTERNAL または EXTERNAL)。
- **BPM** - 1 分間あたりの拍数 (テンポ) を設定します。

## UPDATE FIRMWARE

MONOLIT がアップデート・モードに切り替わります。コンピューターに接続すると MONOLIT が外部ドライブとして表示されます。



ノート：MONOLIT の電源がオフの状態ですべてのボタンを押しながらコンピューターに接続すると、MONOLIT がアップデート・モードとして起動します。

## MONOLIT ファームウェア・アップデート・ガイド

### 1. MONOLIT をコンピューターに接続

USB ケーブルで MONOLIT とコンピューターを接続します。

### 2. UPDATE メニューを開く

- メニューから **SETTINGS > UPDATE FIRMWARE** を選択します。
- または、ディスプレイ下部左の黒いボタンを押しながら USB ケーブルを接続します。

### 3. コンピューターで MONOLIT が外部ドライブとして表示されるのを確認

アップデート・モードになると、MONOLIT は外部ドライブとしてコンピューターに表示されます。

### 4. ファームウェア・ファイルをアップデート

- コンピューターに表示されたドライブの最上位のファームウェア・ファイルがあることを確認します。
- 古い.bin ファイルは削除してください。
- 新しいファームウェア・ファイルを同じフォルダにコピーします。

### 5. アップデートを実行

ファームウェア・ファイルを入れ替えると、MONOLIT は自動的に再起動し、アップデートが完了します。

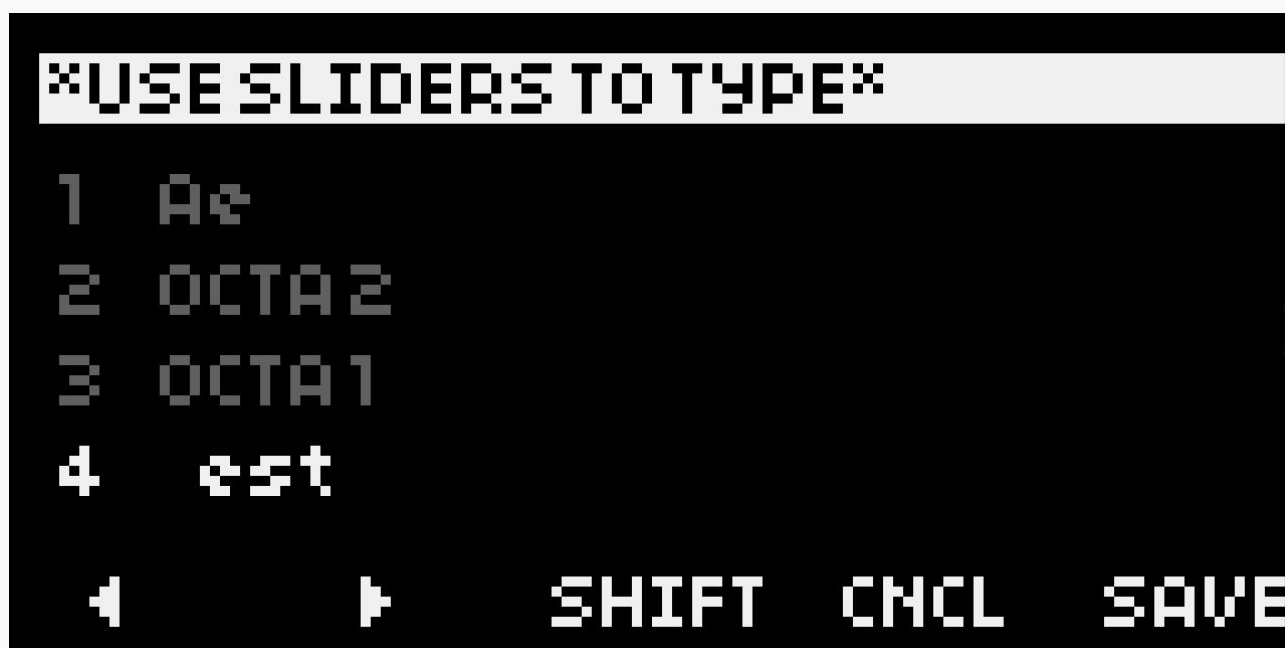


ノート：必ず先に古いファームウェア・ファイルを削除してから、新しいファームウェア・ファイルをコピーしてください。そうしないと、システムの誤作動を引き起こす可能性があります。

## プリセット・マネージャー

MONOLIT では、現在の状態をプリセットとして保存できます。複雑な設定を保存し、後で素早く呼び出すことができます。各プリセットには 8 つのバンク（アルファベット順に A~H）が含まれ、選択中のプリセット内で別々の設定として機能します。複数の構成を 1 つのプリセットにまとめることができるため、ワークフローの柔軟性を高めることができます。

### プリセット名の変更



プリセット名の設定方法は、スライダーやボタンの名称変更の場合と同様です。本体のボタンで文字を移動し、スライダーで文字を変更します。USB キーボードを MONOLIT に接続することで、名前の変更を簡単に行うことができます。



## LOAD

LOAD 機能を使うと、保存済みのプリセットを読み込むことができます。リストから目的のプリセットを選択するだけで、設定を復元できます。

## SAVE

SAVE 機能を使うと、現在の状態をプリセットとして MONOLIT に保存できます。すべてのスライダーの位置やボタン設定、その他のパラメーターを保存することができます。

プリセット機能は、MONOLIT の設定を簡単かつ効率的に管理するために作られました。プリセットを活用することで、お使いの場面に応じて MONOLIT を様々な用途で使い分けることができます。

---

# 外部 MIDI デバイス



USB 2.0 タイプ A ポートに外部 MIDI デバイスを接続すると、ディスプレイの左上に小さな四角形が点滅して表示され、接続が成功したことを示します。

**MIDI DEVICE** メニューにて、MONOLIT が外部 MIDI デバイスから入力されるメッセージをどのように処理/送信するかを設定できます。

## パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。「DON'T CHANGE」を選択すると、入力されたメッセージの MIDI チャンネルを変更せずにそのまま出力します（スルー出力）。
- **TRANSCOPE** - 入力されたすべての MIDI ノートを指定した半音単位で移行（トランスポーズ）し、素早いピッチ調整を行います。
- **MODE** - 受信した MIDI メッセージを処理するアルゴリズムを選択します。

## MIDI デバイス・モード

- **NONE** - 外部 MIDI デバイスからのメッセージを変更せずにそのまま出力します。
- **SPLIT** - 入力された MIDI ノートを、上下 2 つのレイヤーに分割して取り扱います。各レイヤーには異なる MIDI チャンネルを設定できるため、1 台の鍵盤で 2 種類の異なるシンセやサウンドを演奏することが可能になります。
- **KEY FOLLOW** - 入力された MIDI ノートを CC（コントロール・チェンジ）MIDI メッセージに変換します。**MUTE NOTE** がオフの場合は、演奏された MIDI ノートもそのまま出力されます。
- **ARPEGGIATOR** - 入力中の MIDI ノートでリズムカルなパターンを生成します。スケールやランダマイズの設定も可能です。

## SPLIT



**SPLIT** モードは、入力された MIDI ノートを上下 2 つのレイヤーに分割します。各レイヤーは MIDI ノートの範囲を指定でき、異なる MIDI チャンネルを割り当てることもできます。SPLIT モードを使うと、1 台の MIDI キーボードで 2 種類の異なる楽器やサウンドを同時に演奏・コントロールすることができます。たとえば、下のレイヤーにシンセ・ベースを、上のレイヤーにリード音割り当てることで、別々のシンセによるベースとリードを同じ鍵盤で同時に演奏することができます。

- **SPLIT POINT** - 上下 2 つのレイヤーの分割点となるノートを指定します。このノートより低い音程は下のレイヤー、高い音程は上のレイヤーとして扱われます。

### LOWER (下のレイヤー)

- **CHANNEL** - 下のレイヤーに割り当てる MIDI チャンネルを設定します。
- **TRANSPOSE** - 下のレイヤーに入力されたすべての MIDI ノートを指定した半音単位で移行（トランスポーズ）します。

### UPPER (上のレイヤー)

- **CHANNEL** - 上のレイヤーに割り当てる MIDI チャンネルを設定します。
- **TRANSPOSE** - 下のレイヤーに入力されたすべての MIDI ノートを指定した半音単位で移行（トランスポーズ）します。

## KEY FOLLOW



**KEY FOLLOW** モードは、入力された MIDI ノートを **CC (コントロール・チェンジ)** メッセージに変換します。この機能を使うと、鍵盤の演奏でパラメーターをダイナミックにコントロールできます。表現力豊かなモジュレーションが可能になるほか、特定の範囲のノートのパラメーターのコントロールに割り当てることが可能になります。**MUTE NOTE** パラメーターをオフにすることで、生成された CC メッセージと共にオリジナルの MIDI ノートをパススルー出力することができます。

### パラメーター

- **CC NUM** - CC 番号を指定します。チャンネル毎に最大 128 の CC 番号 (0~127) を割り当てることができます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **NOTE MIN** - CC メッセージに変換する MIDI ノート範囲の最低音を設定します。
- **NOTE MAX** - CC メッセージに変換する MIDI ノート範囲の最高音を設定します。
- **CC MIN** - 送信する CC メッセージの最小値を設定します。
- **CC MAX** - 送信する CC メッセージの最大値を設定します。
- **MUTE NOTE** - MIDI ノート・メッセージの出力を無効にします。

## ARPEGGIATOR (アルペジエーター)



**ARPEGGIATOR** は、入力中の MIDI ノートを指定した順序とテンポで繰り返すことで、リズムカルなパターンを生成します。指定したキーに音階が収まる**スケール選択**や、パターンに変化を与える**ランダムイズ**の設定も可能です。アルペジエーターを使うことで、ダイナミックなメロディーやテクスチャー、リズムカルなシーケンスをリアルタイムに作成できます。

### パラメーター

- **STATE** - アルペジエーターのオン/オフを切り替えます。
- **STYLE** - 様々なアルペジエーター・スタイルを切り替えます。
  1. **UP** - 入力されたノートを用いて上昇するメロディーを生成します。
  2. **DOWN** - 入力されたノートを用いて下降するメロディーを生成します。
  3. **UP DOWN** - メロディーが上昇と下降を繰り返します。最低音と最高音は繰り返されません。
  4. **UP AND DOWN** - メロディーが上昇と下降を繰り返します。最低音と最高音は繰り返されます。
  5. **PINKY UP** - 入力中のコードの最高音とその他のノートを交互に再生します。最高音以外のノートは下から上の順番に発音されます。
  6. **PINKY UP DOWN** - 入力中のコードの最高音とその他のノートを交互に再生します。最高音以外のノートは、下から上、上から下の順番に繰り返されます。
  7. **THUMB UP** - 入力中のコードの最低音とその他のノートを交互に再生します。最低音以外のノートは下から上の順番に発音されます。
  8. **THUMB UP DOWN** - 入力中のコードの最低音とその他のノートを交互に再生します。最低音以外のノートは、下から上、上から下の順番に繰り返されます。
  9. **PLAY ORDER** - MIDI ノートが入力された（鍵盤を押さえた）順番にアルペジオが生成されます。
  10. **CHORD** - 入力中の MIDI ノートによるコードを繰り返し発音します。
  11. **RANDOM** - 入力中の MIDI ノートからランダムに選択されたノートでアルペジオを作成します。

12. **RANDOM ONCE** - 入力中の MIDI ノートからランダムなパターンを作成し、それを繰り返します。

- **SCALE** - アルペジオのノートをクオンタイズするためのスケールを設定します。メジャーやマイナーなどのスケールでは、ルート音を設定することができます。

1. **MAJOR** - メジャー・スケール
2. **MINOR** - マイナー・スケール
3. **DORIAN** - ドリアン・モード
4. **MIXOLYDIAN** - ミクソリディアン・モード
5. **LYDIAN** - リディアン・モード
6. **PHRYGIAN** - フリジアン・モード
7. **LOCRIAN** - ロクリアン・モード
8. **WHOLE TONE** - ホールトーン・スケール
9. **HALF-WHOLE DIM.** - ハーフ・ホール・ディミニッシュ・スケール
10. **WHOLE-HALF DIM.** - ホール・ハーフ・ディミニッシュ・スケール
11. **MINOR BLUES** - マイナー・ブルース・スケール
12. **MINOR PENTATONIC** - マイナー・ペントトニック・スケール
13. **MAJOR PENTATONIC** - メジャー・ペントトニック・スケール
14. **HARMONIC MINOR** - ハーモニック・マイナー・スケール
15. **HARMONIC MAJOR** - ハーモニック・メジャー・スケール
16. **DORIAN #4** - ドリアン#4 スケール
17. **PHRYGIAN DOMINANT** - フリジアン・ドミナント・モード
18. **MELODIC MINOR** - メロディック・マイナー・スケール
19. **LYDIAN AUGMENTED** - リディアン・オーグメンテッド・スケール
20. **LYDIAN DOMINANT** - リディアン・ドミナント・モード
21. **SUPER LOCRIAN** - スーパー・ロクリアン・スケール
22. **8-TONE SPANISH** - 8 トーン・スパニッシュ・スケール
23. **BHAIRAV** - バイラヴ・インド音階
24. **HUNGARIAN MINOR** - ハンガリアン・マイナー・スケール
25. **HIRAJOSHI** - 平調子、和音階
26. **IN-SEN** - 陰旋、和音階
27. **IWATO** - 岩戸調子、和音階
28. **KUMOI** - 雲井調子、和音階
29. **PELOG SELISIR** - Pelog Selisir、インドネシア音階
30. **PELOG TEMBUNG** - Pelog Tembung、インドネシア音階

- **ROOT** - (該当するスケールでのみアクティブ) 選択したスケールのルート音を設定します。
- **BPM** - アルペジエーターの 1 分間あたりの拍数を設定します。
- **CLOCK MULTIPLIER** - BPM に対するアルペジエーターの倍数を 2 連符/3 連符単位で設定します。
- **STEPS** - アルペジエーターが生成するパターンのノート間隔を追加します。

- **DISTANCE** - 入力中の MIDI ノートに対する次の追加ステップの半音単位のシフト値



- **RANDOMIZER** - 生成されたメロディーにバリエーションを加えるための追加設定です。アルペジエーターが生成した MIDI ノートがランダムに移行されます。このとき音程は選択したスケールにクオンタイズされるため、キーが外れることはありません。

#### パラメーター

- **STATE** - RANDOMIZER のオン/オフを切り替えます。
- **DISTANCE** - アルペジエーターが生成する MIDI ノートをランダムに移行させる音程を半音単位で設定します。
- **RANGE** - ランダムに移行された MIDI ノートの半音単位の偏差。
- **CHANCE** - MIDI ノートをランダムに変化させる確率。
- **SIGN** - RANDOMIZER が MIDI ノートを移行させる方向を設定します。
  1. **ADD** - MIDI ノートを高くする範囲を半音単位で指定します。
  2. **SUB** - MIDI ノートを低くする範囲を半音単位で指定します。
  3. **BI** - MIDI ノートを高く、または低くする範囲を半音単位で指定します (両方向)。

---

## GAMEPAD (ゲームパッド)

### ゲームパッドを接続する

MONOLIT は標準的なゲームパッドを接続でき、ゲームパッドの操作を自動的に MIDI メッセージに変換することができます。ゲームパッドは、MONOLIT の USB 2.0 タイプ A 入力端子に接続できます。標準的なほとんどのゲームパッドを利用可能です。ゲームパッドを MONOLIT に接続し操作すると、ディスプレイ左上に小さく **G** のアイコンが表示されます。

**GAMEPAD メニュー**では、MONOLIT がゲームパッドからの情報をどのように解釈して MIDI メッセージとして送信するかを設定できます。

ゲームパッドを操作すると、対応する項目名がディスプレイに表示されます。設定したいボタンを操作し、動作を割り当てることができます。ゲームパッドのコントロールは、**ボタン**と**軸**の2種類に分かれています。

- **ボタン**は、MIDI CC または MIDI ノート・メッセージのいずれかを送信できます。
- **軸** MIDI CC メッセージにのみ変換されます。

### ボタンのパラメーター

- **STATE** - ボタンの有効／無効を切り替えます。
- **TYPE** - ボタンで送信するメッセージを **NOTE** または **CC** から選択します。
  - a. **NOTE** を選択すると、ボタンは MIDI ノート・メッセージを送信します。
  - b. **CC** を選択すると、ボタンは CC (コントロール・チェンジ) メッセージを送信します。
- **CHANNEL** - メッセージを送信するための MIDI チャンネルを設定します。
- **NOTE** (「NOTE」選択時のみ) - ボタンによってトリガーされる MIDI ノート番号を設定します。
- **VELOCITY** (「NOTE」選択時のみ) - トリガーされた MIDI ノートのベロシティ (ダイナミクス) を設定します。
- **MODE** (「CC」選択時のみ) - ボタンの挙動を設定します。
  - a. **MOMENT** : ボタンを押している間は高い MIDI 値を、ボタンを離すと低い MIDI 値を送信します。
  - b. **TOGGLE** : ボタンを押すたびに MIDI 値の高低を切り替えます。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を割り当てることができます。
- **INVERT** - ボタンの動作を反転します。この設定を有効にすると初期値が高い (HIGH) 値となり、ボタンを押すことで低い (LOW) 値が送信されます。

### 軸のパラメーター

- **STATE** - 軸コントローラーの有効／無効を切り替えます。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を割り当てることができます。
- **CHANNEL** - メッセージを送信するための MIDI チャンネルを設定します。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。

ゲームパッドを接続することでMONOLITは様々な場面で活躍します。スタジオやライブ・パフォーマンスなど、ゲームパッドをMIDIマッピングし、クリエイティブに再利用することができます。



# MONOME GRID との接続

MONOLIT は、USB 2.0 タイプ A ポートを用いて **MONOME GRID** を接続できます。現時点のファームウェアでは、スケール選択可能な MIDI キーボードとして GRID を使用できます。Ableton Push や LinnStrument と同様のノート・レイアウトで演奏可能です。

この機能は実験的なものですが、今後も積極的に新機能を導入する予定です。私たちは MONOME の熱心なファンであり、彼らのカルチャーへの貢献を高く評価しています。GRID と MONOLIT の統合には大きな可能性があるはずです。

## GRID メニューのパラメーター：

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **SCALE** - GRID で使用するスケールを選択します。選択したスケールのノートで GRID を演奏できます。
- **KEY** - 選択したスケールのルート音を設定します。
- **VELOCITY** - 演奏するノートのベロシティを設定します。
- **OFFSET** - 選択したスケールまたは鍵盤を、設定した値（半音単位）だけ上下にシフトします。

## 最後に

MONOLIT はあなたに寄り添い、刺激的な創作活動をお手伝いします。カスタマイズ、コントロール、実験はお手の物です。

あなたの創造性の旅路に MONOLIT がお供できることをとても嬉しく思います。是非ご意見をお聞かせください。MONOLIT をより快適にお使いいただくための改善に役立たせていただきます。

MONOLIT の世界によろこそ。

クリエイティブに楽しみましょう！

<https://www.lightreft.jp>